

こんにちは! お元気ですか?

みんなで ふれあいライフ

真狩村地域見守りネットワーク事業



高齢者を見守るネットワークづくりが進められています

近年、まわりの人が気づかない間に、ひとり暮らしの高齢者が孤立死する悲しい事件が発生しています。高齢者のひとり暮らし世帯は年々増えていて、2009年には全世帯の約11世帯に1世帯が高齢者のひとり暮らし世帯です。高齢者のひとり暮らしは、突然の病気やけがなど、何かあったときに対応が遅れる心配を抱えています。また、悪質な訪問販売や虐待の被害にあう問題も起きています。

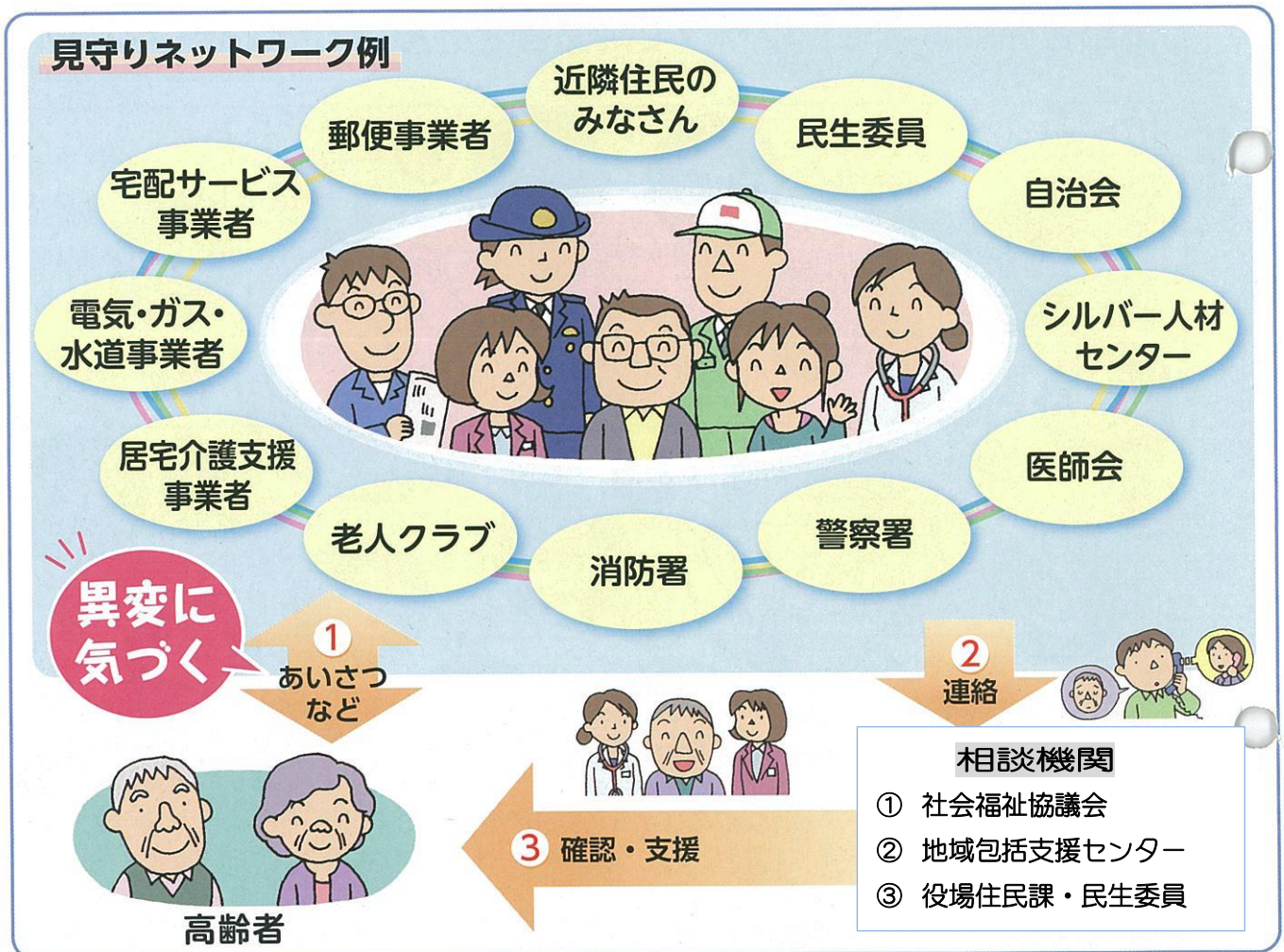
しかし、こうした問題が起こっても、高齢者が近所付き合いをしていなかったり、助けを求めなかったりすれば、誰にも気づかれないままになってしまうこともあります。

そこで、地域のみなさんが日常生活や仕事の中で、あいさつなどを通じてさりげなく高齢者に接し、見守っていくネットワークづくりが進められています。

見守りネットワークとは どのようなものですか？

地域見守りネットワークとは、地域の皆さんで高齢者や障害者等を見守り、何かきがか
りなことを感じたら、相談機関に連絡して地域を支えるしくみのことです。

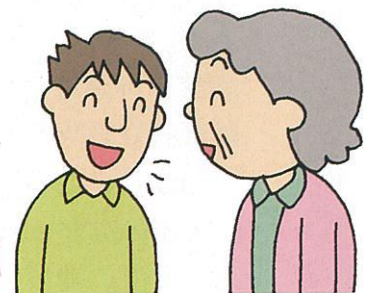
日常生活や仕事の中で、地域のみなさんが参加してネットワークがつけられます。まず
はあいさつや気軽な声かけなどで「さりげない見守り」を始めましょう。



☐ **気軽な気持ちで始めてみましょう！**

たとえば

- おはようございます！
- こんにちは！
- こんばんは！
- よいお天気ですね！
- 寒くなりましたがお元気ですか？ など



細かく聞きすぎたり、プライバシーに踏み込んだ内容だと、高齢者も「監視されているの
かな」と警戒してしまうことがあります。適度な距離を保った「さりげない見守り」が、お
互いの安心感を生みます。

あなたのまわりに 気がかりな高齢者はいませんか？

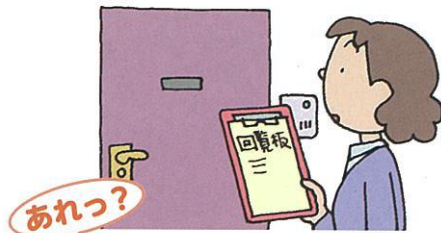
近所に住んでいる高齢者について、日常生活や仕事の中で、「あれ？」
「おかしいな？」という小さな「気づき」がとても大切です。



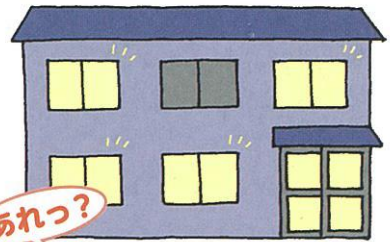
☐ たとえばこんなことありませんか？



郵便物や新聞が郵便受けに
たまっている



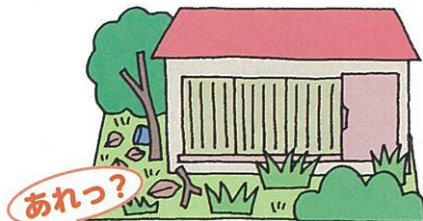
家を訪ねても、
顔を出してくれない



夜になっても
家に明かりが見つからない



最近、外出している姿を
見かけなくなった



庭の手入れがされなくなったり、
洗濯物が干されなくなった



家の中から高齢者を大声で
怒鳴る声が聞こえる



顔や腕などに不自然なあざが
多くなった



服装が不自然なまま
外出している



見慣れない人が
家に入りやすくなった



話をすると、知り合いがなく
寂しいと悩んでいた



最近引っ越してきたが、周囲
になじめていないようだ



最近、顔色も悪く、
やせてきた気がする

なにか気がかりなことを感じたら、早めに相談機関までご連絡ください！

「なにかおかしいな？」と 思ったらご連絡ください!

高齢者に気がかりなことを感じたら、下記の相談機関へご連絡ください。連絡を受けた相談機関は、高齢者の様子を確認し、必要な支援やサービスを行って高齢者を支えます。

高齢者の様子が、なんとなくいつもと違う…

近所に住んでいる高齢者について、なんとなくいつもと様子が違ったり、心配なことや気がかりなことがあれば、お気軽に相談機関へご連絡ください。



連絡

相談機関が対応します

連絡を受けた相談機関は、高齢者を訪問して、様子を確認します。



確認

必要な支援やサービスを行います

相談機関は、高齢者の様子を確認後、必要に応じて病院や介護保険サービス事業者などの関係機関と連絡を取りあい、高齢者に必要な支援やサービスを行います。



相談機関

地域包括支援センター

高齢者のみなさんが住み慣れたまちで安心して暮らしていけるように、介護、福祉、健康、医療など、さまざまな面から支える機関で、市区町村が運営しています。



ほかに、在宅介護支援センター、社会福祉協議会、市区町村の窓口 などにも相談できます